

新聞に親しみ、自らの興味関心や課題に基づいて新聞を活用できる子どもをめざして

長野県松本市立島内小学校教諭（代表） 志 村 昌 之

1. 実践の概要

（1）目標

情報化社会の今日、膨大な量の情報の中から必要な情報を集め、選択し、比較・検討を通してまとめ、自分の意見や考えを持ち、表現していくことができる情報活用能力は、現代社会を主体的に生きていくためには必要な能力と考える。

そこで、本校では、「新聞に親しみ、子どもたちが自分の課題や興味関心に基づいて新聞を活用してく子ども」を目指し、そのための指導のあり方や場の設定を中心に研究に取り組んできた。

（2）具体目標

①新聞に親しむ。

- ・新聞に興味関心を持ち、進んで見たり読んだりする。
- ・新聞記事や写真から得たことを話題にする。

②新聞を活用する。

- ・新聞を見たり読んだりして、意見や感想を持つ。
- ・新聞から必要な情報を探し出したり読んだりする。
- ・情報を比較したり、判断したりする。
- ・収集・比較した情報をまとめる。
- ・まとめたことを発表する。

（3）学年目標

- ①低学年：新聞のよさに触れる。
- ②中学年：新聞のよさに気づく。
- ③高学年：新聞のよさを生かす。

（4）研究内容

①新聞に親しませるための工夫

- ・N I E コーナーの設置
- ・新聞閲覧コーナーの設置
- ・新聞の活用方法の紹介
- ・スピーチ
- ・スクラップブックによる新聞記事の収集

②新聞を活用した学習

- ・新聞の教材、資料としての活用
（社会、国語、特活、道徳など）
- ・新聞作り（社会、特活など）

2. 新聞の配置 整理の方法

（1）新聞の配置

- ・N I E コーナー（廊下 教室等の掲示板）
- ・新聞毎に箱を用意し、整理した。
- ・誰でも自由に閲覧し、必要があれば切り抜きやコピーをしていくようにした。

（2）整理の方法

- ・毎朝6年生の児童が新聞受けより持ってきて、新聞毎に整理して、閲覧できるようにした。

3. 実践の内容

(1) 新聞に親しませるための工夫

①スクラップブック

個人用のスクラップブックを用意して、各自でテーマを決めたり、その日その日の話題性のあるものを選んだりして、記事を集めていった。

子どもたちは、自分の興味関心に基づいて様々な記事を集めていった。交通、環境・自然、事件・事故、医療、そして、長野オリンピック、パラリンピックなどである。友だち同士でだぶってしまうような場合、友達が切り抜いた記事に関心がある場合などはコピーをとって対応した。

②1分間スピーチ

切り抜いた記事を集めたスクラップブックをもとに、朝の会の時間を利用してスピーチを行った。日付、新聞名、記事の内容、自分の意見や感想などを発表した。発表後に友だちからの意見も求め、お互いの情報交換の場とした。必要な場合はコピーをして記事の提供も行った。

③N I Eコーナーの設置

校内の掲示板を使用して、新聞の活用方法についての情報提供を行った。6年生の児童により、新聞のよさやおもしろさ、切り抜きやスクラップの方法を全校の友だちに知らせることができた。また、この活動を受けてそれぞれの学年の発達段階に合わせて、新聞と関わる活動や学習につながっていった。

④テーマ別新聞作り

スクラップブックによる新聞記事集めのまとめとして、「テーマ別新聞」の製作を行った。関心のあるテーマ別にグループを作り、模造紙1枚程度に記事を張り、見出しをつけたり、まとめや感想を書き加えたりするなどして、工夫をしてまとめた。

テーマは次の通り…

長野オリンピック・パラリンピック、
事件・事故、医療、自然・環境、
ワールドカップサッカー など

※スクラップブックより



⑤児童会掲示委員会による学校新聞・学級新聞作り

- ・児童からの希望もあり、今年度から「校内掲示の整理と新聞による広報活動を行う」掲示委員会が発足。
- ・新聞に関する活動では、学校の行事や出来事を新聞にまとめたり、学級新聞コンクールを行ったりした。
- ・校内の情報を工夫してまとめ、全校の子どもたちに親しまれた。

(2) 新聞を活用した学習活動

第5学年「社会科」の実践

①単元名 わたしたちの生活と工業生産

②主眼

(社会) 最近の公害について知りたいと思っている子どもたちが新聞の活用方法を知り、記事を見つけ整理することを通して、最近の新聞では人々の生活全般と関わった環境問題や公害防止のための対応が取り上げられていることに気づく。

(新聞) 新聞を資料としてどう使うか困っている子どもたちが新聞の見方や整理の仕方を知り、公害に関する記事を見つけ出し、整理することを通して新聞を活用する方法がわかる。

③授業の流れ・子どもたちの様子(概略)

- ・新聞で公害に関する記事を探そうとする際、わからないことや困っていることを出し合う。

C どの部分から探すのか？

C どのように記事をとっておくのか？

- ・新聞で必要な記事を探す方法、整理の仕方について学習する。

T 新聞のいいところは？

C 最近のことが載っている。

C 詳しい。

C 日本のことや世界のことがいろいろ載っている。

T 新聞の見方や整理の仕方について学習しましょう。

○新聞の特長

- ・世の中のことを広く早く知ることができる。

○内容

- ・だいたいの割り振りが決まっている。(タイトルについて)
- 総合、経済、スポーツ、国際、文化、地域、芸能、テレビ、ラジオなど

○見方

- ・見出しを見る。

○整理・保存の仕方

- ・切り抜いて台紙に貼る。(画用紙、スクラップブックなど)
- ・日付、新聞名を書く。
- ・台紙の場合は大型の袋に入れて、資料名を書いておく。

- ・新聞で公害の記事を探して整理する。

C 「自然環境大きく変化」

C 「環境アセス」

C 「森林の乱開発」

などの記事を探す。

- ・新聞で資料を探す活動を行っての感想を発表する。

C 資料集や年鑑などより新しいことが載っていた。

C 見出しを使って探すといい。

C 目次みたいなのがあって探しやすかった。

C 載っている所がわかって探しやすかった。

4. 実践の感想と今後の課題

研究当初に行った実態調査や子どもたちの様子などから、新聞に関心を持って見たり読んだりしている子どもたちは、ごく一部に限られていた。

新聞に接する機会を少しでも多く取り、新聞に親しめるようにということを出発点に研究を始めた。子どもたちの生活の中で新聞との関わりを日常化させ、個人としての意識を高めるために、スクラップブックを1人1冊用意し、自分の興味関心のある記事を集めることとした。それが軌道に乗ってきたところで、朝の会の1分間スピーチで、発表や情報交換の場を設定し、より関心を高めることができた。

新聞購読を始めた9月、10月は、「ダイアナ妃交通事故死」「長野新幹線開業」など、社会的にも子どもたちにとっても注目すべき出来事があり、さらに、今年度は「長野オリンピック、パラリンピック」も開催され、タイミングもよかった。

これまで新聞に見向きもしなかった子どもたちが、毎日毎日NIEコーナーで新聞を見たり読んだり、家庭でも記事集めをしたりするようになった。そして、その後の社会科の学習などにおいて、記事を持ち寄ったり、読んだことをもとに考えたりするなど、学習の視野が広がったような気がする。無理をせず、個々の興味関心や学習のペースを大切にしながら進めたこともよかったと思う。

学習面では、社会科の学習を中心に、時事的な内容を取り上げ、児童の関心が高まった。

特に、子どもたちの関心の高かった、環境

境問題、福祉（ボランティア）、オリンピック・パラリンピックなどは、子どもたちが世の中の動きを身近なものとして捉えることができた。

ただ、即応性が求められるだけに、教師側の教材研究が重要となってくる。教科や道徳、特活などの指導内容と、新聞記事の内容との関係、また、子どもたちがどのような考えで新聞を見たり読んだりしたり、それをもとに、どのように社会事象をどう捉えているのかなどを、的確につかみ、教材化していくことが必要と考える。こうしたことが、今後の課題となってくる。